

ずいそう

趣味紹介！！ “シニアライフを釣りと全国温泉巡り”



藤目正敏

1. はじめに自己紹介

私、^{ふじめ}藤目のルーツは、香川県三豊郡豊中町（現：香川県三豊市豊中町）で、昭和28年1月に生まれました。初対面の方からは、珍しい名字ですねと言われ、スマホアプリの「名字由来 net」では全国名字の多さの順位9,430位、全国人数810人だそうです。

最後の役所勤めは、平成25年に国土交通省近畿地方整備局企画部技術調査課長を5年間務め定年退職しました。その後、近畿建設協会・近畿地域づくりセンターに再就職し、平成28年に退職して組織から解放され”自遊人”としてシニアライフを満喫しています。

2. 趣味紹介

趣味1. [バイクツーリング]

振り返れば51歳の時に“男カワサキ W650”を購入して、バイクにテント・寝袋・食器等を積み込み、ソロツーリングで全国の山奥の秘湯を巡り、10年間で地球2周を超える距離を走破しました。当時は現職でしたので、職場の皆様にご了解を得て5月の連休や夏季休暇を利用して、入ったことのない秘湯を求め金曜日に仕事を終えてから出発して、約3,000kmのツーリングを楽しみました。

大型バイクの魅力は、アクセルを開けるとGを感

じる加速と、山岳のワインディングロードもストレスなく、車体を傾けて風を切り新鮮な空気や臭いを感じながら走る爽快さは、車では感じることはできないものでした。

また年に数回、職場の機械職や土木職のバイク仲間との日帰りツーリングは、今では楽しい思い出となっています。

定年退職後は、何回かソロツーリングに出かけましたが、だんだんと200kgを超える車体の重さと、雨の中のカッパ、そしてテント設営などを負担に感じだしバイクを手放し、車での車中泊旅に切り替えました。

趣味2. [釣り]

子供の頃は、香川県の田舎に住んでいましたので、学校を終えるとミミズを掘り近くの川での魚釣りに夢中でした。

役所勤めでは16回の転勤と転居を10回する中で、色々な釣りにチャレンジしました。福井県の真名川ダムではアユの友釣りやイワナ・ヤマメ・アマゴの溪流釣り、兵庫県豊岡と京都府福知山では日本海沿いの磯で、ヒラメ・カツオ・アジ釣り、本四公団第二建設局（岡山）時代はチヌ・メバル・サヨリ等の五目釣りを楽しみ、転勤の度に釣り道具が増えていきました。

現在は、阪神淡路大震災時に住んでいた明石の官舎が半壊状態で住めなくなり、市内の海の近くに持ち家を確保し住むこととなりました。明石に居を構えてから、近所の方から船釣りの誘いがあり、仕立て船での船釣りデビューをしました。船釣りでは丘からは釣れないとても大きな魚が数多く釣れ、釣りの幅が広がりました。釣りは魚との真剣勝負ですので、つり針・ハリスを選び仕掛けを自分で作ることで、釣りに行く前から楽しみ、結果大漁となれば尚良しです。

毎年船釣りでは、春はガシラ（カサゴ）・タコ、夏はタコ・太刀魚・ベラ、秋はハマチ、冬はメバル釣り等で毎月1回の釣りを楽しんでいます。

昨年9月にハマチ狙いで、写真-2のブリが釣れ人生初大物の醍醐味を味わうことができました。船釣りは、家から自転車で5分の漁港から出港し、体力もいらずもう少し楽しめる趣味の一つです。



写真-1 青森県下北半島大間崎にて



写真一 船釣りでブリを釣り上げた!

趣味 3. [車での全国温泉巡り]

(1) 旅の足・SUBARU 車

私は、昔から戦闘機づくりをルーツに持つ、SUBARU 車が好きで『スバリスト』として、レガシー・アウトバック・フォレスターとスバル車ばかり乗り継いできました。冬の東北温泉・湯治旅に出掛けますが、スバルの AWD はスタッドレスタイヤさえ履いていれば、安心して走ることができタイヤチェーンはいりません。後席を倒して車中泊も可能で、旅の足として頼もしい相棒です。運転免許証の返納まであと何年残されているかわかりませんが、これからも安全運転で楽しい温泉旅が続けられたら幸せです。

(2) 旅の情報源

旅での情報源は、秘湯温泉に浸かりながら温泉談義をしたり、道の駅で出会った方とのコミュニケーションによるところが多いです。

今は、新型コロナでできませんが、早く終息することを願っています。

北海道で出会った方からは、宿に泊まるなら「とほ宿」が良いよ!また、雑誌「HO」を買うと無料の温泉が付いてくるよ!と教わりさっそく道内で2冊の本を購入して旅を楽しみました。「とほ宿」は一泊二食付きで5,000円位で、食事は家庭料理程度ですがオーナーは旅好きの方が多く、夕食前に近くの温泉に連れて行ってくれ、食後は全国各地から来ている方とのミーティングの場をセッティングしてくれたり、温泉旅館やホテルでは味わうことのできない宿です。私が北海道の定宿としているのは、「ニセコ旅物語」と「さ

ろまにあん」です。一度泊まってみることをお勧めします!

今、旅に出掛けるときに持っていく本は、『「まっとうな温泉」東と西日本編』発行:南々社で無期限の無料入浴券が100軒程付いています。『温泉博士』発行:マガジン倶楽部は1カ月有効の無料入浴券付きです。グルメ本は『日本全国百年食堂』発行:講談社、『日本全国B級グルメ』発行:えい出版社が役立っています。

(3) 特に好きな温泉

北海道に行くと必ず立ち寄るのが帯広市の「天然温泉アサヒ湯」銭湯です。植物由来の有機物を含む“モール泉”で体中気泡に包まれ、ツルツルになりとても気に入っています。加えて秋田県乳頭温泉郷にある鶴の湯温泉の露天風呂も気に入っています。



写真一 秋田県乳頭温泉郷にある鶴の湯温泉にて

湯治宿では秋田県八幡平の「後生掛温泉」です。湯治部のオンドル部屋は、床下に温泉蒸気を通しその地熱で湯治効果を高め、真冬でも館内はTシャツ一枚で過ごせます。ベストシーズンは1月・2月の真冬がお勧めです。

後は、郡司勇さんの「秘湯、珍湯、怪湯を行く!」発行:角川書店に紹介されている、奇跡の名湯「足元湧出温泉」全国でも20~30ヶ所程度しかなく、源泉に直接入浴できる、大変貴重な温泉に入るのが好きです。

最後のページに、私が自ら入浴し好きな温泉を紹介していますので、温泉に興味を持って頂いた方は、参考にして貰えれば幸いです。

(4) テーマを決めて旅を楽しむ

最近では、旅の計画をするときに「温泉+〇〇テーマの旅」として出掛ける前から旅を楽しんでいます。



写真-4 小松基地のブルーインパルス

テーマ①：自衛隊基地見学

日本の自衛隊、陸上・海上・航空自衛隊基地は無料で見学ができ、様々なイベントも実施しています。私が一番感動したのは、石川県航空自衛隊小松基地の航空祭で見た、ブルーインパルスのアクロバット飛行です。物凄い爆音と、大空で展開する驚異の演技は素晴らしかったです。

その他、鹿児島県の「知覧特攻平和会館」は有名ですが、「海上自衛隊 鹿屋航空基地」にも特別攻撃隊にまつわる遺品や零戦の実機が展示されており、特攻隊員の遺書を読み涙しました。

テーマ②：自動車工場等の見学

日本の自動車産業の、トヨタ・スズキ・ホンダ・ヤマハ・カワサキの各工場等の見学に行きましたが、さすがと思ったのは名古屋駅近くの日本のトップ企業の「トヨタ産業技術記念館」です。65才以上は無料（昨

年10月から300円）で入館でき、広いスペースにトヨタ発祥の織機やトヨタ車の歴史を見ることができ素晴らしい施設だと思いました。

その他のテーマ：昨年は、果物産地巡りを楽しみましたし、これからB級グルメ・百年食堂・桜・紅葉・名水旅など、出掛ける前から小さな夢がふくらみ楽しんでいます。

3. おわりに

私も後2年で古希を迎え、「竹内まりや」さんの歌の歌詞『満開の桜や色づく山の紅葉をこの先いつか何度見ることになるだろ』『いつかは誰でもこの星にさよならをする時が来る』の、ように何時さよならするか分かりませんが、その時が来るまで健康寿命を保ち、一年一年旅を続けられたらと思っています。

私の好きな温泉

- (1) 炭酸泉：大分県竹田市「七里田温泉下湯」, 「長湯ラムネ温泉館」, 山梨県韮崎市「韮崎旭温泉」
- (2) アルカリ泉：岡山県真庭市「真賀温泉真賀温泉館・幕湯」
- (3) ナトリウム泉：和歌山県田辺市「龍神温泉元湯」
- (4) 酸性泉：青森市「酸ヶ湯温泉」, 群馬県吾妻郡「万座温泉日進館」
- (5) 露天風呂：岡山県真庭市「湯原温泉砂湯」
- (6) 歴史の宿：長野県「渋温泉金具屋」, 群馬県吾妻郡「四万温泉積善館」
- (7) 湯治宿：岩手県北上市「夏油温泉元湯夏油」